

# 入院患者及び家族の皆様へ

## 深部静脈血栓・肺血栓塞栓症予防について

市立大津市民病院では、各種手術の周術期、周産期、外傷や骨折後、内科疾患急性期などにおいて深部静脈血栓・肺血栓塞栓症の発生予防を行っています。

対応としては、薬剤、弾性ストッキングや間欠的空気圧迫装置等です。深部静脈血栓・肺血栓塞栓症予防を行う際は、医師・看護師が説明します。

医師や看護師の指導のもと、血栓症対策をきちんと理解し、しっかり予防を行うことが大切です。

適切に予防するため、ご協力をいただきますようよろしくお願い致します。

### 深部静脈塞栓・肺血栓塞栓症とは、

長い間ベッドに横たわっていたり、同じ姿勢を続けていると、足の深部の静脈内に血の塊が発生し、血流を妨げて様々な悪影響を及ぼす症状のことです。

中でも「肺血栓塞栓症」は静脈血栓症が引き起こす最も危険な病気です。原因として手術の影響による止血機能の亢進、安静臥床による血流不全が上げられます。手術後安心して日常生活に戻るために「肺血栓塞栓症」やその原因となる「深部静脈血栓症」のことをよく知り、しっかりと予防することがとても大切です。